



2024年10月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2024年3月14日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

上場取引所 東

コード番号 7640 URL <https://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長兼管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 2024年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第1四半期の連結業績 (2023年11月1日～2024年1月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	5,073	△6.0	△31	—	△48	—	△56	—
2023年10月期第1四半期	5,396	△10.3	39	△74.5	21	△85.3	11	△90.8

(注) 包括利益 2024年10月期第1四半期 △51百万円 (—%) 2023年10月期第1四半期 8百万円 (△92.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	△3.64	△3.64
2023年10月期第1四半期	0.96	0.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第1四半期	17,800	2,347	13.0	9.32
2023年10月期	17,607	2,880	16.1	19.79

(参考) 自己資本 2024年10月期第1四半期 2,308百万円 2023年10月期 2,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2024年10月期	—				
2024年10月期 (予想)		—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 上記配当の状況は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と管理関係の異なる種類株式 (非上場) の配当の状況については、後述の種類株式の配当の状況をご参照ください。

2. 2024年10月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。今後、予想が可能となった時点で速やかにお知らせさせていただきます。

3. 2024年10月期の連結業績予想 (2023年11月 1日～2024年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,636	△6.1	△188	—	△223	—	△542	—	△34.74
通期	17,793	△6.1	△399	—	△470	—	△866	—	△55.51

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期1Q	16,214,400 株	2023年10月期	16,214,400 株
② 期末自己株式数	2024年10月期1Q	603,480 株	2023年10月期	603,480 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期1Q	12,403,345 株	2023年10月期1Q	12,084,520 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(A 種優先株式)

	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023 年 10 月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
2024 年 10 月期	—				
2024 年 10 月期（予想）		4,000.00	—	4,000.00	8,000.00

(B 種優先株式)

	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023 年 10 月期	—	500.00	—	500.00	1,000.00
2024 年 10 月期	—				
2024 年 10 月期（予想）		500.00	—	500.00	1,000.00

(注) 1 株当たり配当金は、円単位未満小数第 3 位まで計算しその小数第 3 位を四捨五入して表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、行動制限の緩和を含めた各種政策の効果により、個人消費や雇用情勢等に回復の兆しが見られ、景気は緩やかに持ち直しています。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等に加え、世界的なインフレに伴う金融引き締め、円安基調の継続、原材料・エネルギー価格の高止まり等から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした環境の中、当社グループは、中期経営計画（2024年10月期～2026年10月期）の初年度である当期においては、読書文化を継承していくことを目的とした、「“持続可能な書店創り”へのチャレンジ」を経営方針として掲げ、一人でも多くの人々が読書に触れ合う機会を提供し、読書における新たな体験価値を提案することで顧客満足度の向上に努めてまいりました。また、かねてより蔦屋書店内に導入を進めておりました、100円ショップ「DAISO」やゲーム・トレーディングカードの買取及び販売を営む「ふるいちトップブックス」、株式会社バンダイのカプセルトイブランドであるガシャポンの専門店「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」といった新業態との組み合わせを実施し、収益性の高い“持続可能な書店”を創り出すことを進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間においても、新たに「ふるいちトップブックス」を1店舗、「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」を3店舗へ導入し、売上伸長に貢献しております。

また、2024年1月31日に蔦屋書店仙台泉店は移転のため閉店し、2024年3月9日に蔦屋書店イオンタウン仙台泉大沢店としてグランドオープンいたしました。地域で圧倒的一番の品揃えの「書籍」を中心に、それぞれのライフスタイルにあった「商品」と「空間」を提供する店舗へ生まれ変わります。

店舗状況におきましては、仙台泉店の閉店により営業店舗数は57店舗、子会社運営の48店舗を加えるとグループ全体では105店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,073百万円（前年同期比94.0%）、営業損失31百万円（前年同期 営業利益39百万円）、経常損失48百万円（前年同期 経常利益21百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、店舗数の減少の影響や書籍部門の売上の伸び悩みにより、当社グループの主軸である蔦屋書店事業全体の売上高は4,656百万円（前年同期比88.5%）となりました。

利益面につきましては、自動発注システムの構築と徹底した商品・在庫管理による粗利の改善や、セルフレジの利用促進及び店舗オペレーションの更なる見直しを行い、販管費の削減に努めました。一方で売上高の減少や人件費の上昇により、営業損失31百万円（前年同期 営業利益39百万円）、経常損失48百万円（前年同期 経常利益21百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

① 蔦屋書店事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,656百万円（前年同期比88.5%）、セグメント損失は46百万円（前年同期 セグメント利益31百万円）となりました。

主力商品の売上高は、書籍2,923百万円（前年同期比91.6%）、特撰雑貨・文具862百万円（前年同期比93.4%）、レンタル198百万円（前年同期比71.8%）、ゲーム・リサイクル81百万円（前年同期比46.5%）、販売用CD63百万円（前年同期比62.6%）、販売用DVD65百万円（前年同期比68.4%）、賃貸不動産収入124百万円（前年同期比79.6%）となりました。

② ゲーム・トレーディングカード事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高104百万円（前年同期比133.9%）、セグメント利益3百万円（前年同期比73.0%）となりました。

③ スポーツ関連事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高47百万円（前年同期比103.2%）、セグメント損失8百万円（前年同四半期 セグメント損失6百万円）となりました。

④ 訪問看護事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高37百万円（前年同期比160.6%）、セグメント利益3百万円（前年同四半期 セグメント損失5百万円）となりました。

⑤飲食事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高283百万円、セグメント利益0百万円となりました。なお、飲食事業については前第3四半期連結累計期間より、新たに開始しているため前年同期比は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比563百万円増加し、17,800百万円となりました。これは主に現金及び預金、商品の増加により流動資産が619百万円増加した一方で、建物及び構築物の減少により固定資産が55百万円、減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末比726百万円増加し、15,452百万円となりました。これは主に買掛金が1,130百万円増加した一方、一年内返済予定分を含む長期借入金が173百万円、短期借入金が100百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末比162百万円減少し、2,347百万円となりました。これは主に、剰余金の配当を109百万円実施したこと、及び親会社株主に帰属する四半期純損失を56百万円計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の連結業績見通しにつきましては、2023年12月14日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,570,708	2,152,722
売掛金	351,448	417,272
商品	7,268,167	7,294,702
前払費用	255,104	248,709
未収入金	162,092	113,804
その他	109,514	108,860
貸倒引当金	△404	△404
流動資産合計	9,716,632	10,335,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,311,744	1,284,361
土地	1,423,310	1,423,310
リース資産（純額）	1,998,956	1,952,734
その他（純額）	61,281	72,733
有形固定資産合計	4,795,292	4,733,139
無形固定資産		
のれん	139,385	134,092
その他	17,853	17,900
無形固定資産合計	157,239	151,993
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,322,112	2,323,719
その他	245,558	255,618
投資その他の資産合計	2,567,670	2,579,337
固定資産合計	7,520,202	7,464,470
資産合計	17,236,835	17,800,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,688,332	3,818,360
短期借入金	4,500,000	4,400,000
1年内返済予定の長期借入金	644,676	619,676
リース債務	335,237	331,957
未払法人税等	49,390	11,700
賞与引当金	30,000	14,000
未払金	280,186	235,865
資産除去債務	5,481	5,653
その他	573,324	618,581
流動負債合計	9,106,629	10,055,795
固定負債		
長期借入金	2,195,680	2,047,011
リース債務	2,920,864	2,846,893
資産除去債務	180,185	180,573
長期前受収益	1,277	2,346
退職給付に係る負債	33,042	32,396
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期末払金	11,689	10,729
長期預り敷金保証金	214,291	214,106
固定負債合計	5,619,972	5,396,997
負債合計	14,726,601	15,452,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,342,378	100,000
資本剰余金	2,045,929	4,178,474
利益剰余金	△1,643,970	△1,700,841
自己株式	△270,027	△270,027
株主資本合計	2,474,308	2,307,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,435	858
その他の包括利益累計額合計	△2,435	858
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	30,110	30,632
純資産合計	2,510,233	2,347,345
負債純資産合計	17,236,835	17,800,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
売上高	5,396,820	5,073,513
売上原価	3,689,304	3,400,661
売上総利益	1,707,516	1,672,851
販売費及び一般管理費	1,668,306	1,704,764
営業利益又は営業損失(△)	39,209	△31,912
営業外収益		
受取利息	2,468	1,895
協賛金収入	2,937	2,630
原子力立地給付金	525	3,578
その他	4,648	2,742
営業外収益合計	10,580	10,847
営業外費用		
支払利息	27,800	26,828
雑損失	—	364
営業外費用合計	27,800	27,192
経常利益又は経常損失(△)	21,989	△48,257
特別利益		
固定資産売却益	3,458	—
特別利益合計	3,458	—
特別損失		
減損損失	5,860	—
特別損失合計	5,860	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	19,588	△48,257
法人税、住民税及び事業税	7,245	8,091
法人税等合計	7,245	8,091
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,343	△56,349
非支配株主に帰属する四半期純利益	704	521
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,639	△56,870

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,343	△56,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,509	3,294
その他の包括利益合計	△3,509	3,294
四半期包括利益	8,834	△53,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,130	△53,576
非支配株主に係る四半期包括利益	704	521

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	3,192,240	59.0	2,923,150	57.1	91.6
	特撰雑貨・文具	923,187	17.1	862,616	16.8	93.4
	レンタル	276,779	5.1	198,771	3.9	71.8
	賃貸不動産収入	155,863	2.9	124,109	2.4	79.6
	ゲーム・リサイクル	175,824	3.2	81,715	1.6	46.5
	販売用DVD	95,560	1.8	65,327	1.3	68.4
	販売用CD	101,749	1.9	63,717	1.2	62.6
	その他	329,653	6.1	282,524	5.5	85.7
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,164	0.2	54,483	1.1	667.3
	計	5,259,023	97.3	4,656,415	90.9	88.5
ゲーム・ トレーディング カード事業	外部顧客に対する売上高	77,755	1.4	104,137	2.0	133.9
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	77,755	1.4	104,137	2.0	133.9
スポーツ関連 事業	外部顧客に対する売上高	44,640	0.8	46,133	0.9	103.3
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,554	0.0	1,554	0.0	100.0
	計	46,195	0.9	47,688	0.9	103.2
訪問看護事業	外部顧客に対する売上高	23,565	0.4	37,847	0.7	160.6
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	23,565	0.4	37,847	0.7	160.6
飲食事業	外部顧客に対する売上高	—	—	283,461	5.5	—
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	—	—	283,461	5.5	—
合計		5,406,539	100.0	5,129,551	100.0	94.9

(注) 1 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

2 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード他であります。